

外国の方向け日本語ボランティア入門講座 ～あなたの経験を活かした、日本語教室での活動を考えましょう～

実施報告

2022.3

公益財団法人横浜市交流協会

♡講座の概要

日 時：2022年2月4日・18日・25日（金曜日）
10:00～12:00 全3回

このほかに、日本語ボランティア体験を行いました。

場 所：オンライン（Zoom）

講 師：キムヨンナムさん（早稲田大学日本語教育研究センター非常勤講師）

参加者：日本語学習経験があり、日本語支援を行うことに興味のある人

9人（のべ20人）（中国6人、インド、タイ、ミャンマー各1人、
在日歴は半年～30年）

内 容：

第1回	日本語ボランティアとは？
第2回	理想な日本語教室について話し合おう
第3回	日本語支援を始めてみよう！

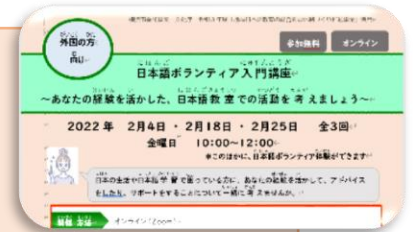
※2月7日・8日・9日・14日・16日 地域日本語教室（横浜市国際交流協会主催教室）での体験・見学をしました。

協 力：地域日本語教室3教室(体験・見学受け入れ)

地域の日本語教室学習支援者3人(第2回講座の意見交換会に参加)

その他、横浜市委託事業

文化庁令和3年度「地域日本語教育の総合的な体制作り推進事業」活用



♡講座の目的

日本語学習経験を持っている外国の方たちが、自身の日本語学習と日本での生活経験を活かして、地域の日本語学習支援への参画を促すことを目的としています。

♡講座開催の背景

令和元年度横浜市外国人意識調査によると地域活動への参加意向を有している人の割合は74.1%と高く、やりたいこととして「日本に来たばかりの外国人の支援」が36.7%、「言語を教える」が32.4%という調査結果がありました。

また、地域日本語教室に通っている学習者の中には、来日間もない学習者もいます。日本語学習支援を進めるうえで、日本語にまだ慣れていない人は、特に同じ外国の支援者がいることで、安心して参加できるでしょう。

以上のことから、「外国の方の地域活動参加を促進する」、「日本に来たばかりの学習者が安心して日本語学習環境を」との二つの視点から今回の講座を企画・実施しました。

第1回

「日本語ボランティアとは？」

2月4日（金曜日） 10:00～12:00

参加者：5人

第1回では、日本語学習経験を持つ参加者が、日本語学習・日本での日本語生活経験を共有しました。また、横浜に来たばかりの外国の方への支援を考え、自分の強みは何か、どんなことができるかについて確認しました。そして、日本語ボランティアとして活動することへの理解を深めました。

♥参加者の日本語学習を振り返る

○日本に来て日本語はどうでしたか。

- ・来日前に日本語を勉強しました。生活の日本語と勉強した日本語にはギャップがありました。
- ・国で勉強してきましたが、日本に来てすぐ会話ができなかったです。
- ・日本に来る前に勉強したので、自分はできるとしていました。日本で会話をしたらギャップを感じ、ショックでした。

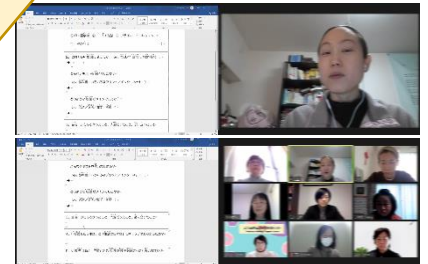
○どうやって日本語を覚えましたか。

- ・日本に来て、子育てしながら生活に密着した日本語を覚えました。
- ・ドラマを見る・ニュースを聞くなどの生活の中で覚えました。
- ・生活の中で勉強した日本語は役に立ちました。

○講師から

- ・コミュニケーションの中でことばを使えて覚えられましたね。
- 日本語学習で大事なことは交流ですね。

(下の写真：日本語学習を振り返る様子)



♥日本語ボランティアになるために考えることは

① ボランティアに必要なことは？

日本語能力・日本での経験・他の人をサポートしたい気持ち

② ボランティア教室で意識すること

日本語教室でのボランティアの役割・大事なことは何か、「いい日本語教室」、私にできることを考える。などです。

例：今すぐできることについて確認しましょう。

日本語で、私の国の言葉で、(ネットなどを)調べれば

次の12項目のなかで、いくつか説明できそうですか。

- ・うちから成田空港までの電車をチェックする。
- ・マスクと手の消毒液、どこで買う？
- ・松屋の牛丼を注文する。
- ・電車で忘れ物した！！どうする？
- ・花粉症って何？
- ・ディズニーランドに行くためにチケットを予約する。
- ・お正月に神社へ行って初詣する。

○講師から

- すべての項目、日本語で・母国語で説明可能でしたね。
- 「私」が経験したことは、ほかの人に説明できます。
- 日本語ボランティアになるために大事なものは**気持ち**です。その気持ちを大切にしたいです。

♥日本語ボランティア体験・見学に向けて

体験・見学に向けての準備・見学するポイントを確認しました。

地域日本語教室見学時のポイント

- ・どんな教材を使っていたか？
- ・どんなトピックスでしたか？
- ・みんなが十分に話していましたか。
- などを観察しましょう。

第2回

「理想な日本語教室について話し合おう」

2月18日 (金曜日) 10:00~12:00

参加者：7人

第2回では、地域日本語教室での体験・見学の感想を共有しました。また、体験・見学先から、すでに活動中のボランティアのみなさんを迎えました。活発な意見交換を行い、疑問・不安への解消につながったと思います。励みの言葉もいただきました。また、次回の模擬授業に向けて、必要な準備の説明もありました。

♡ ボランティア体験・見学の振り返り

1 見学した日本語教室について

- *どんな教材を使っていましたか。⇒ 特に決まった教材はなく、先生が作った資料を共有しながらやっていました。
- *どんなトピックで話しましたか。⇒ ・今はコロナ禍なので、コロナの予防例えば「うがい」、「手洗い」、「コロナのリスク」などについて話していました。
 - ・どこに行きましたか。について話していました。
 - ・ファッション（ブランド）について話していました。
- *みんなが十分に話していましたか。⇒ ・学習者は質問に答えるだけの感じでした。
 - ・サポーターが60%以上話している印象でした。

2 見学してよかったこと

- ・ポイントを考えながら見学したのが良かった。見学してから自分の考えを持てるようになりました。
- ・学習者が発話するように、サポーターの引き出し方が良かったです。
- ・日本に来て間もない人でも、日本語でコミュニケーションは取れているように感じました。
- ・日本に来たばかりの人のためには、やさしい日本語がとてもいいとおもいました。先生の話は聞きやすかったです。
- ・生活場面の話が良かったです。
- ・教室ではたくさん話すチャンスがあります。コロナワクチンやこどもが病気になったときの対応などの話がありました。

3 見学して気になったこと

- ・日本に来たばかりの人で、あまり話せなかったら、どうすればいいか。
- ・資料の共有はどのようにしているか。
- ・グループで人数が多かったら話す時間が短くなりますので、もっと話せるようになるためには、どうすればいいでしょうか？

♡ ボランティアのみなさんに聞いてみました

Q 漢字や助詞がうまくなるためには、どうしたらいいですか。

- A・話す、読み書きは難しい。間違っていていいからどんどん話したり、書いたりすること。
 ・ママ友とたくさん話す。イベントに参加すること。
 ・聞き取れなくても日本語のニュースや番組を流すこと。

Q 話せない初心者がどんどん話せるようにするためには、どうするといいですか？

- A・興味があることをやさしい日本語で話すこと。
 ・学習者同士が互いに質問するのはいいと思う。

すでに活動をしている
日本語ボランティア
からの一言

- ・講座に参加した勇気が素晴らしい。その気持ちを大切にしたい。
- ・学習者もみなさんを見て目標ができる。「私もここまでできるように」と。頑張ると思います。

第3回

「日本語支援を始めてみよう！」

2月25日（金曜日） 10:00~12:00

参加者：8人

最終回の第3回は、参加者が準備した内容での、20分の模擬授業を行いました。二つのグループに分かれて、講師役と学習者役になりました。模擬授業の教材の指定はなく、チラシなどの生教材を使ったり、パワーポイントで作成した資料の共有といった自由な形式でした。トピックは四季、スポーツなど皆さんにとって馴染みがある話題が多かったです。模擬授業での会話が盛り上がり時間が足りず、皆さんが真剣に準備してきた様子がわかりました。その後、全体で振り返りを行い、模擬授業の感想を共有しました。

最後に、今後の活動に向けたエールを講師からいただき、研修を終了しました。

♡ 模擬授業をやってみて

- ・今、開催されているオリンピックから導入したのが、すごくよかった。
- ・みんなが知っている話題から入ったのが良かった。
- ・スポーツの言葉が難しい。説明と写真などがあったら理解しやすかったと思った。
- ・みんな話して、勉強したいことが分かったのでよかった。
- ・季節の話題で話ができたと、話が盛り上がったことが良かった。
- ・説明があまりできなかった。日本語をもっと頑張らないといけないと思った。
- ・自分の国との違いなど、自分の国のことを合わせて、もっと話せるようにすればもっといいと思った。
- ・時間の管理が難しく、時間が足りなかった。

♡ 模擬授業に参加して

- ・資料をきちんと準備していたこと、丁寧に作っていたこと、順番もよかったです。
- ・始めは緊張するので、自己紹介から始まったのが良かったです。

模擬授業の様子



○講師から、授業をするときのポイント

- ・時間の使い方
- ・授業の準備
- ・新しい情報提供
- ・みんなが話せるテーマを選ぶ
- ・お互いに話し合う

♡ 参加者からの声



- ・3回の講座とも、内容が充実して、大変勉強になりました。見学会はベテランの先生の授業を通して、実際の日本語のレベルと関係なく、いろいろな話題で国際交流ができたことに感心しました。
- ・今回の講座で、先生がボランティアの役割と、する理由とやり方をよく紹介して説明しました。そして、模擬授業もありました。ボランティアをやりたい気持ちももっと強くなりました。
- ・ボランティアサポーターのやり方、教材の選び、使用方法が分かりやすく、勉強になりました。
- ・教材がなく生活の話題は興味あるので、良かったです。回数と時間が短かった。